

研究情報公開

受付番号	2/-02
研究課題名	回復期リハビリテーション病棟入院高齢脊椎圧迫骨折患者の 筋肉量増加が日常生活動作に及ぼす影響の調査
研究機関	ちゅうざん病院 臨床教育研究センター
研究実施者	リハビリテーション療法部 理学療法士 末吉勇樹
研究の背景・目的・ 方法等	<p>【研究の目的】 本研究は、脊椎圧迫骨折患者に対する当院回復期リハビリテーション病棟入院している高齢圧迫骨折患者の筋肉量の増加が FIM(機能的自立度評価表)利得に与える影響について調査します。</p> <p>【研究の方法】 ○対象者 当院回復期リハビリテーション病棟へ入院した 80 歳以上の脊椎圧迫骨折患者様</p> <p>○利用するカルテ情報 ①年齢、②性別、③医学的情報、④発症から当院入院までの期間、⑤FIM スコア(総計・利得)、⑥骨格筋量指数、⑦在院日数など</p> <p>【カルテ情報の利用】 上記のカルテ情報は、患者様の治療の有効性を分析する材料とします。</p> <p>【個人情報の取り扱いについて】 利用する情報からは、患者様の氏名、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	当院倫理委員会承認日から 5 年間以内の期間で研究を行います。 (令和 3 年 4 月～令和 8 年 3 月)